

裏磐梯：銅沼周辺コース

- ◆日程 2021年12月30日(木)
- ◆メンバー L:IZ、他1名
- ◆天候 曇りとときどき雪

年末年始休暇に雪中キャンプ&歩行を企画しました。裏磐梯の雰囲気がよいと、眺望のよい猫魔ヶ岳を候補にあげましたが、天候が悪そうなのと冬山は両名とも2シーズン振りであったこともあり、無理をしないことを考え第二案として銅沼(あかぬま)周辺コースを考えました。

前日のキャンプ設営時は青空のもと穏やかな空気、管理者の民宿「リゾート inn みちのく」の方によると「こんないい天気はこのあたりじゃ珍しいのよ～」とのこと。風もなく、貸し切りでたき火を楽しみゆっくり休めました。

翌朝、うって変わって雪がしんと降り、厚い雲が稜線にかかっている早々に第一案は断念、第二案の起点となる裏磐梯スキー場に向かいました。当初リフトを利用予定のところ早めに行動開始できたので、ゲレンデの脇をツボ足で登り始めます。予定では左回りに周回するつもりでしたが、目の前に現れた山への入り口に誘われ、右回りの周回に変更し入山しました。

林間を進み、途中でスノーシュー装着。道みち、降りしきる雪に見え隠れする大きな磐梯山を前にテンションが上がります。雪原に出、地形と方向から判断して銅沼方面に向かいますが、大きな岩を乗り越えたり避けたりする必要があり、太ももまで踏み抜いたりと前進が困難になってきました。雪で見通しが悪く地形の把握もしにくく、いったん戻ろうと提案し雪原に引き返します。そこで改めて相談、やみくもに進むとまだ凍っていない沼に足を踏み入れてしまうかもしれない、傾斜が急なところもある。周回はあきらめ往復することに決めました。

短時間にホワイトアウト寸前の降りとなり、少し遅ければ自分たちがつけたトレースも不明瞭になるところでした。雪原から樹林帯に戻って以降は道の心配はなく、ただ自分はトラバースに不安があったためアイゼンに履き替えました。

翌日はゲレンデスキーの予定でしたが相変わらずの雪降りに、「わざわざ修行することもないね・・・」と、猪苗代湖巡り、那須の温泉に寄って早めの帰路としました。

思えば今年度行った山(三国山、三つ峠)いずれも雨もしくは濃霧のなかでした。個々はそれなりの晴れ女、晴れ男なのですが、二人揃うとどうもいけないようです。いっぽう海でのキャンプ(城ヶ島、WD長浜など)は台風がそれたりなどして晴天に恵まれました。

ふたりとも自然そのものが好きなので今後は山にこだわらず、海を選ぶのもよいのではと、小笠原諸島あたりに眼を付けています。(記:IZ)

CT:裏磐梯スキー場 8:30 - リフト終点 9:00 - 雪原 10:30/12:00 - リフト終点 13:00

